

「氾濫」「浸水」「土砂崩れ」など

7月豪雨、市内各地に多大な被害



増水した水が住宅を襲う

市内の河川が数カ所で氾濫

被災された皆様へ

～お見舞いとお詫び～

2度にわたる7月の豪雨災害について、市民の皆様
に心よりお見舞いを申し上げます。特に7月30日に
発生したゲリラ豪雨での災害は甚大で、市内で床上
浸水が26棟、床下浸水が107棟、非住家冠水が186
棟（いずれも最新数値）という状況です。市の災害
対策部では、角館町山根地区・田沢湖梅沢地区・角
館町西長野古寺地区・八割塩手沢地区に避難勧告も
発令しました（現在は全域解除）。

農作物の被害は、水稲・大豆・野菜・花き等で浸水、
冠水、倒伏が15,255㎡、水田の土砂堆積や畦畔欠損
が166箇所、農道13箇所、ため池1箇所、頭首工12
箇所、水路41箇所の計233箇所、林道被害が38路
線42箇所、作業道19路線、その他山腹崩壊等の治
山施設被害が4箇所となっています（いずれも最新
数値）。

現在は、各関係機関と連携し全力で復旧作業にあ
たっています。佐竹知事、加藤県建設交通部長に被
災地を視察いただき、直接要望も行いました。また
職員による復旧活動支援隊を組織し、高齢者世帯等
を中心にお困りの方々の住家周辺清掃、消毒作業な
どを2日間にわたって実施しました。

今後対応が必要な多くの問題も見えています。避
難勧告を発令した後、県に報告が遅れたことは悔や
まれてなりません。危機管理意識のさらなる醸成が
必要と強く感じます。

さらに残念な事実は、市役所の電話が落雷で通信
不能となったことです。情報の受発信ができなくな
ったことで、市役所機能が著しく停滞し、市民の皆
様には不安な思いをさせてしまいました。深くお詫
びを申し上げます。効率化と経費削減等で導入した
通信システムを見直し、一刻も早くリスクを分散し
た危機管理体制を再構築します。職員個人の携帯電
話メールを活用した伝達手法（試験運用済み）、移動
通信事業者が開発した一斉送信サービスの導入、停
電時や屋外で特に効果を発揮するラジオ（地域内ラ
ジオ局など）の開設なども検討します。また被災し
た作業場などにも活用できるリフォーム資金の拡充
などは、既に制度設計に着手しています。

あらゆる手だてを講じ、市民の命・生活を守り支
える覚悟です。

仙北市長 門脇光浩